

令和6年度 台湾修学旅行

今年度の修学旅行は、コロナ以降 5 年ぶりに目的地を台湾とし、10月21日から24日の日程で実施しました。

1日目

早朝に羽田空港に集合、4時間半のフライト後、台北の松山空港に到着しました。その後、忠烈祠、龍山寺を見学しました。



2日目

朝食後に、台湾の大学生とB&Sプログラムを行いました。大学生と英語でコミュニケーションを取りながら、台北を散策しました。一緒においしいものを食べたりショッピングをしたりしながら、台湾の文化について学びました。午後には「千と千尋の神隠し」のモデルになったことで有名な九份に行きました。



3日目

この日は姉妹校である光復高校を訪問し、学校交流と文化体験を行いました。学校交流では、両校のダンス部がパフォーマンスを披露して盛り上げてくれました。その後、56個のブース形式で台湾の文化を紹介してくれました。台湾のお祭りや伝承遊び、タピオカミルクティー作り体験や台湾グルメ体験などもありました。午後の文化体験では、台湾の名菓パイナップルケーキ作り、小籠包作り、天燈上げ、太極拳などを楽しみました。夜は士林夜市を観光しました。



4日目

帰国前に中正紀念堂を見学し、帰国しました。



修学旅行を終えて

これまでも本校では、国際教育の観点から生徒一人ひとりの視野を広げ、B&Sプログラムや現地高校での交流を通じて国際交流への理解を深めるという目標を掲げて海外修学旅行を実施してきております。2002年より海外修学旅行、2015年より台湾修学旅行を実施しており、2023年には光復高校と姉妹校協定を結びました。またB&Sプログラムにおいて台湾の大学生との交流を盛り込んだ成果として、台湾の地方の文化に直接触れる機会も持てました。「国が異なると文化も異なる」ということを肌で実感し、英語だけでなく、中国語でのコミュニケーションの準備の必要性を実感するなど生徒一人一人の国際的視野の育成に向けて、台湾修学旅行は意義深い体験となりました。